

新たな出発と校訓

金沢市を含め石川県の中学校の多くは「校訓」を持っている。

それに対して、小学校は中学校に比べ少ない。たぶん、戦前の小学校も多くは持っていたと思われる。

明治時代は、明治 5 年の学制や何度もの小学校令の改正で、義務教育経費の個人負担又は国庫負担制度等の変更が度重なった。

小学校の学校設置は現在と同様に市町村の管轄であったが、自治体の面積、財力共に小さく、学校設置管理の負担が大きく、その解消のために何度となく合併を行い、小学校の統廃合が続いた。それに伴い、校訓が無くなったり変更されたりした。また、戦前戦後を通じて、漢字で書かれた校訓が、小学生には難しいため、または戦後の教育制度により、「めざすこども像」に変わったり、学校教育目標だけになったりしたようだ。

従って、小学校のいわゆる「校訓」というものは、中学校に比べて少なくなっているのかもしれない。

また、校訓は開校時、新校舎完成、周年記念、校長着任、学校研究開始、校風変更など様々な場面で制定されているようだ。

さて、本題に入る。昨年度、近所の二つの小学校が統合された。

今年の夏、バドミントンの練習で体育館に入ると、体育館ステージ右側に校訓額が掲示してあった。



合併により、新しい小学校ができたのを機会に校訓ができたようだ。

小学生にわかりやすい2つ語で、いま最も必要な教えの校訓です。

ある小学生に「校長先生から校訓の意味聞いた？」と質問したら、「去年、校長先生から聞いた。平和の和なんだって。」と答えが返ってきました。

この校訓が掲示物としてではなく、学校、地域・家庭と共に「和」の心と「創造」の力を育成する目標となることに期待します。

また、大人になっても何人かの児童が、和と創造の言葉を口にし、その心が宿っていることを願いたいと思います。

ひとりの地域住民として・・・。